

港合同2016団結旗開き 時代に見合う団結と 闘いをつくろう！



全国金属機械労働組合 港合同
 大阪市港区南市岡3 6 26
 TEL 06 6583 4858
 FAX 06 6583 4600

一月二十二日(金)十
 八時から田中機械ホール
 にて二〇一六港合同・団
 結旗開きが行われ、創意
 工夫と実践を基礎に組織
 の発展を目指そう！」を
 スローガンに七〇名強の
 参加者で一杯になりました。
 また全日本建設運輸
 連帯労組関西地区生コン
 支部の武谷書記次長と朝
 鮮総聯西大阪支部の沈委
 員長の参加も紹介されて
 いました。

規制緩和は事業者認可
 から許可になり、安い賃
 金・過酷な労働と皺寄せ
 が我々労働者にきていま
 す。労働組合が労働条件
 を確保していき、自分達
 が長年闘ってきた権利・
 条件を守っていかなければ
 ならないであろう。そ
 のためのよりよい一年で
 あるようにと挨拶があり
 ました。

続いて第一部は神戸か
 らJR神戸線が遅れたに
 も関わらず駆けつけてい
 ただいた中島光孝光孝弁
 護士(大阪労働者弁護団

代表幹事)が学習会を約
 五〇分行って下さいまし
 た。御自身は中学卒業後
 に工場でクレーン等の電
 気修理を、金融関係では
 組合の青婦部でキーパン
 チャー三名の腱鞘炎を労
 災申請し認めさせたそう
 です。また、労働運動・
 学生運動が盛んな一九六



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

○年代後半を働きながら
学業に励まれ、弁護士に
なれましたが、労働者
側でやっていくと言うと
「食べていけないぞ！」
と言われたとのこと。
そして近年は一〇年間副
代表幹事経て昨年一〇月
代表幹事になられたと経
歴を語られました。



今日、労働法・労働基
準法が蔑ろにされ、政治
ストライキ・同情ストラ
イキが違法とされ、より
労使協調路線へと進んで
います。個人から国家へ、
労働者から資本家へとよ
り一層生活しにくい社会
へと変えようとしています。
個人の個性が尊重されな
くなり、労働者の権利も
なくなっていくという憲
法改悪が画策されていま
す。昨年改悪された改正
派遣法もそうです。アベ
ノミクスによる政府主導
の官製春闘が賃金引き上
げの労使交渉を形骸化さ
せ、国家主導の国家社会
主義という戦前を彷彿さ
せる状況となっています。

七月に行われる参議院選
挙が焦点ではありませんが、
衆議院との同時選挙にで
てもなると大変な正念場に
なるに違いありません。
「個人」の尊重・「労働
者」の権利等をトータル
に考えて労働組合の立場、
弁護士の立場で闘いの継
続をしていかなければな
らないと訴えられました。
その後の第二部は港合
同玉置事務局長の戦争法
案に対して声を挙げて問
い続けていくことが大事
であるとの乾杯の音頭で
毎年恒例の交流会が始ま
りました。
寄せ鍋の準備をして、
揚げ物の盛合せと地ビー
ルで和んできたころ西村



事務局次長のいつも通り
の軽快で独特な進行で四
支部分会から挨拶があり
ました。
初めに朝鮮総聯西大阪
支部の沈委員長からは現
在闘っている裁判では珍
しく証人が五人も採用さ
れたと報告がありました。
力のあるものは力で、知



昌一金属支部

恵のあるものは知恵で、お金のあるものはお金でのスローガンを七〇年前から頑張っています。大阪の朝鮮学校一〇校は千名の生徒が通い、内三校は七〇周年を迎えるとも言われていました。



青島工業分会

そして昌一金属支部からは代表してN委員長が今春闘を頑張って闘うことを宣言して、新入組



成和製造分会

員の林君を紹介していきましました。彼は早く皆様の力になりたいと思いますと力強く挨拶していました。



ます。次回裁判の傍聴も宜しく願いますと協力要請がありました。

成和製造分会の〇氏からは昨年の団結もちつき大会に参加させていただいて、やればやるほど自信ができてきて、この一年もこのパワーをぶつけていきたいと気合の挨拶をされました。

りなく交流も深められ、最後の締めのレストランに舌鼓をうちました。

今年も港合同は地域の仲間との団結を強化して、まずは直近の二〇一六春闘勝利に向けて共に頑張っ

て闘っていきましよう。

参加された方々、大変ご苦勞様でした。

昌一金属支部 N

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！